

事業概要

地元野菜をキャッシュレス決済で自動販売機にて販売し、幅広い世代に対して気軽に野菜を購入できる機会を創出することで、野菜摂取量の増加を図る。

現状／課題

- ・草津市第3次食育推進計画によると、本市の野菜摂取量は、国・県と比較して少ない。
- ⇒本市には働き世代が多いことに一因である。
- ⇒気軽に新鮮購入できる仕組みを構築できないか。

目的／効果

- ・キャッシュレスにすることで、**若年層への野菜販売の促進を行う。**
- ・駅などに設置することで、帰宅途中に気軽に購入することができる。
- ・地場産物の新たな販路拡大を行い、**草津の野菜をPRすることができる。**
- ・規格外野菜も販売することで、SDGsにもつながる。
- ・簡単なレシピを付けることで、レシピを考える手間が省け、購入につながる。

計画の位置づけ

- ◇草津市第6次総合計画（基本方針18-1：農業の振興）
⇒地場産物の需要・販路拡大と積極的な情報発信
- ◇草津市健康都市基本計画（基本方針2「ひとの健康づくり」／基本施策2「個人の健康づくりの推進」）
⇒「食事の大切さや野菜の摂取の啓発」
- ◇草津市第3次食育推進計画（基本方針2「望ましい食習慣の形成と実践を促進し、健康の維持・増進をはかります」）
⇒重点指標「野菜の摂取量の増加を目指します」
- ◇草津市農業振興計画（基本方針3「『農』を通じたつながりの拡大」／基本施策3-1「地産地消の推進」）
⇒「草津市産農産物の利用拡大」

事業イメージ



生産者



消費者

納品

※簡単なレシピを添付

購入／スマホで決済

本市の主要な計画にも「野菜」について取り上げられているものが多く、その重要性が見て取れる。

設置場所

農業振興地域から離れた住宅地の近くにある施設を想定。

◇草津市役所

◇南草津駅自由通路

※実証実験

◇キラリエ草津

※フレンドマートがテナントに入っているため、住みわけが課題

需要と供給のバランスを見ながら、設置希望施設を募集し、随時拡大を図る。

野菜自販機



ねり丸直売所／練馬区HPより

キャッシュレス対応の冷蔵機能付き自販機を想定。（株式会社ピープルの商品）

- ・本体価格
2×7タイプ 2,640,000円
4×7タイプ 3,500,000円
- ・リースも可能



「極主夫道」とのコラボ

人気漫画「極主夫道」作者である「おおのこうすけ」先生が草津市に縁があることから、「KUSATSU BOOSTERS」への委嘱を予定している。

その一環として、自販機のデザインを依頼できないか検討中。

人気漫画キャラクターがデザインされていることで、普段野菜に興味のない方にも興味を持ってもらうねらい。



野菜の販売イメージ



JAいがふるさと
／とれたて市ひざこより

東京都練馬区の事例



ねり丸直売所／練馬区HPより

- ・ 設置場所
→練馬区役所本庁舎アトリウム
- ・ 営業時間
→午前10時30分～午後7時00分
※当初、午後4時までだったが、午後7時まで延長。仕事帰りの人等にも対応。
- ・ 販売スペース →21
- ・ 納入者 →JAの青年部など4組織

自動販売機の一例

現金にもキャッシュレスにも対応しており、幅広い世代に購入いただけるような仕様になっている。



押しボタンタイプ

【決済仕様】

- [現金] 10 / 50 / 100 / 500 円硬貨
1,000 円札
- [電子マネー] 交通系 IC
WAON / iD / 楽天 Edy / nanaco / QUIC Pay
- [QRコード] PayPay / 楽天ペイ / メルペイ / d 払い / auPay etc
- [クレジット] VISA / Mastercard / JCB

決済ユニット付き冷蔵ロッカー型自販機/株式会社ピープル

